



印刷所 龍共印刷株式会社 編集人 編集 木下右 発行人 木下右

衆院選挙は2月27日

此の二十七日は衆院選挙の投票日だ。汚職内閣が総辞職し、乱闘国会が解散されたあとの総選挙だから一層、公明選挙が行われなければならない。政界も刷新されなければ、議会政治の確立も望めない。

日々の我々の生活を、大きくは日本が将来歩むべき道を左右するもの、かゝつてこの日の一票によつて決まるのだ。よく見、よく聞き、よく考へて選びたいものです。

この一票が左右する

この一票 良くも悪くもなる政治

★註第三区の衆議院議員の定数は四名のところは四名のところ立候補者は、保守派、革新派、共に四名づつで計八名競争率は丁度二倍となっている。

原 茂	42	左社前
中島 巖	54	右社新
宮沢 胤勇	67	民主元
林 百郎	42	共産元
吉川 久衛	49	民主前
竹内 友衛	31	自由新
小川 平二	45	自由前
小塩 完次	57	憲法擁護連合新

公明選挙連盟協議会

去る二月十二日青森村公明選挙連盟協議会を役場に於て開いた。まづ改正選挙法を究明し、次に公明選挙運動につき討議した。公明選挙の根本理念は、選挙民が自由の意志によつて投票することである。買収されず圧力に屈せず、自己の意志を一票に表現することである。ところが実際には、買収や圧力などによって選挙は行われ、公明選挙の理想は実現しない。この現状を打破するためには、公明選挙運動の根本理念を堅持し、選挙民の自由意志を尊重し、買収や圧力に屈しないことである。

想随リレー

中田金秋

（次回の特号は伊原春男氏に）
合五拾才
文化とは何だ、宗教とは何だ、政治とは何だ、生活とは何だ。答へない。皆んな似た様な生活だ。経済が文化の先駆だ、宗教が結核菌だ。政治が持論五当四落の街頭演説が示す如く、絶対的だ。生活はすべて文化だ。
そんな事を言うときさし奴らをつくらねばならない。それは、大きく面倒な問題を時間をかけて練り合つていくことが重要である。合併の法的期限は三月三十一日。九月三十日までである。許された期限いっぱい、つてもかまわない。充分に遺憾のないまでに練り上げておいて、後世に遺言を残す。いかに合併を成立せよと願う。

説論 町村合併の方向

昨十二月町村合併についての結果、一月三十一日に期、懇談会が、公民館の主催のもとに伊賀良、松原、菅野、三浦、各分館毎に開かれた結果、強力な自治体をつくりたいというが村民の一般的な意向であった。その結果、二ヶ村はあまり積極的にはなかつたが、とにかく伊賀良村、川路村へと奔走し、各の意向を打ち合わせ、合併に努める。この一町五ヶ村がひとつの自治体をつくるか、或は二つになるか、もしくは飯田市を含めて大飯田市を建設するのか、それは今後の問題である。その問題については、合併協議会が各分館の委員を兼ねて、合併協議会を組織する。合併協議会が各分館の委員を兼ねて、合併協議会を組織する。合併協議会が各分館の委員を兼ねて、合併協議会を組織する。

消防出初式

堂々二〇〇名の分列式
去る一月六日に本村消防の出初式が挙行された。下伊那地方事務所、下伊那消防協会、飯田警察署長、近村消防団長、村内有名者の臨席のもと盛大に行われた。

昭和三十年年度 消防団新幹部

團長 前島 秀夫
副團長 長沼 保治

第一分団	分団長 木下 純夫	副分団長 伊東 保直	火先班長 大平 馨	給水班長 関島喜代司	救助班長 下平 保治	機関班長 中平 博	本部班長 後藤 健治	誘導班 伊事 保直	後藤 健治
第二分団	分団長 今村 栄一	副分団長 牧内 一雄	火先班長 桐生 寿郎	給水班長 安東 欣二	救助班長 関島喜代司	機関班長 後藤 健治	本部班長 下平 保治	誘導班 伊事 保直	後藤 健治
第三分団	分団長 小林 元	副分団長 塚平 晋	火先班長 横井 保雄	給水班長 清水 静夫	救助班長 塚平 晋	機関班長 木下 久男	本部班長 増田 湊人	誘導班 塚平 晋	関村 広一
第四分団	分団長 岡村 美文	副分団長 下平 康晴	火先班長 佐々木誠一	給水班長 岡村 広一	救助班長 林 市郎	機関班長 前島 広美	本部班長 原 輝雄	誘導班 下平 康晴	岡村 広一

婦人会役員 三十年度	会長 代田きこ	副会長 伊原節子	書記 林 恒子	記録 下平ひろゑ	支会長正副 小島かつる	支会長 小島かつる	支会長 上松いさ	支会長 牧内ゆき	支会長 長野原 小林こと	支会長 今村あき	支会長 前沢三枝子	支会長 林みちる	支会長 下平いねよ	支会長 原 文	支会長 上川路 増田いと	支会長 木下よし
------------	---------	----------	---------	----------	-------------	-----------	----------	----------	--------------	----------	-----------	----------	-----------	---------	--------------	----------

青年會役員 三十年度

会長 牧内清志
副会長 下平俊郎
副会長 山田公子
事務 下平康二
総務 岡村 広一
文化 下平忠敏
文化 清水由子
文化 松村嘉久
文化 大平と子
体育 下平 毅
体育 下平正子
産業 林 喜一
産業 中島喜代



青年會役員 三十年度

会長 牧内清志
副会長 下平俊郎
副会長 山田公子
事務 下平康二
総務 岡村 広一
文化 下平忠敏
文化 清水由子
文化 松村嘉久
文化 大平と子
体育 下平 毅
体育 下平正子
産業 林 喜一
産業 中島喜代

協同機関の設置

本村園藝、葉煙草、養蚕等に関する協同機関の設置について、協同委員会規約などを作る。

産業振興計画

期待する
〇稲作を主体とする経営 齊藤 正氏
〇酪農を主体とする経営 原康 次氏
〇畜産を主体とする経営 林長 雄氏
〇果樹を主体とする経営 原 丙 三氏
〇果樹を主体とする経営 岡野 一郎氏

座談会

〇養蚕を主体とする経営 高島 兼蔵氏
〇稲作を主体とする経営 齊藤 正氏
〇酪農を主体とする経営 原康 次氏
〇畜産を主体とする経営 林長 雄氏
〇果樹を主体とする経営 原 丙 三氏
〇果樹を主体とする経営 岡野 一郎氏



